広島県西部保健所管内（大竹市・廿日市市）の感染性胃腸炎の流行状況について

広島県西部保健所

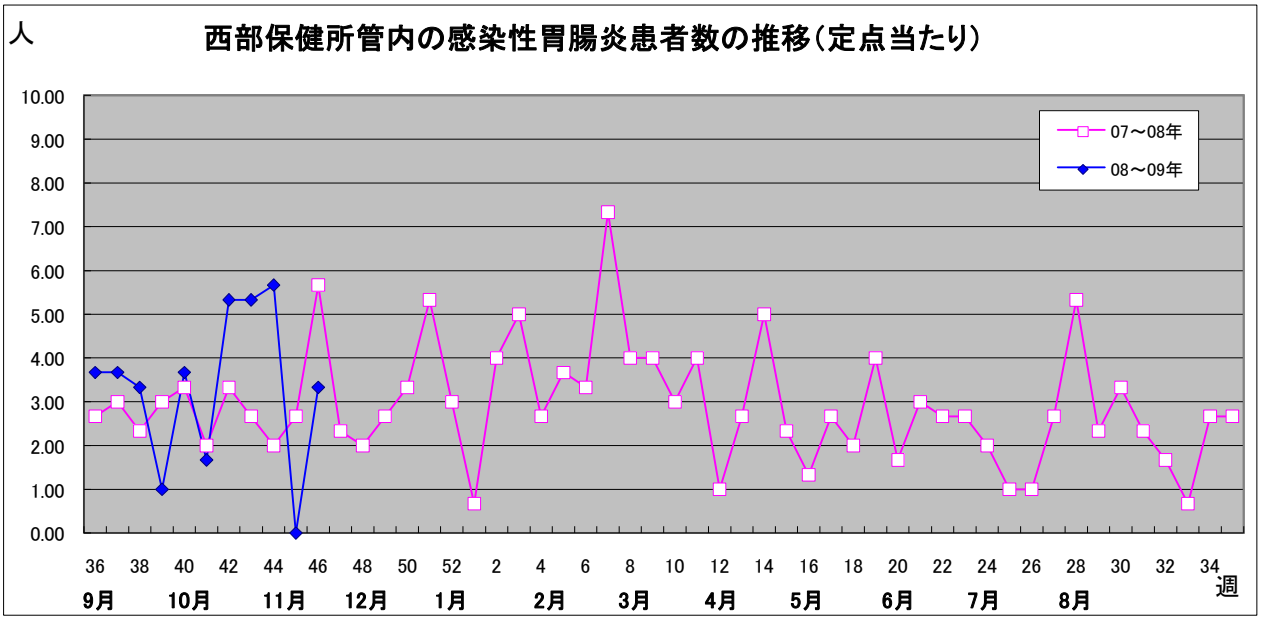
広島県西部保健所管内（大竹市・廿日市市）の定点医療機関における感染性胃腸炎患者数の状況は、次のとおりです。
（令和８年第46週分）

○ 感染性胃腸炎患者数

小児科定点医療機関において１週間に診断された患者数です。

（人）

期　間	西部保健所（大竹市・廿日市市）		広島県		全国	
	患者数	定点当たり	患者数	定点当たり	患者数	定点当たり
令和８年第46週（11/９～11/15）	10	3.33	221	3.95	8,008	3.56
令和８年第45週（11/２～11/８）	0	0.00	213	3.80	7,071	3.14
令和８年第44週（10/26～11/１）	17	5.67	256	4.57	7,306	3.25
令和８年第43週（10/19～10/25）	16	5.33	211	3.77	7,166	3.18



※　感染症発生動向調査に基づいて作成したものです。

○ ノロウイルスによる感染性胃腸炎について

例年、冬場にかけてノロウイルスによる感染性胃腸炎の流行がみられます。主な症状は、嘔吐、下痢、発熱などで、一般的には１～２日で症状は軽快します。特に、保育所、小学校、高齢者施設などの集団生活の場では感染が拡がりやすく、集団発生につながる危険性が高いので注意が必要です。

○ 二次感染防止の注意点

《食品の取扱い》

食品は、衛生的に取扱い、十分に加熱調理しましょう。

《手洗いの励行》

外から帰った時、トイレの後、調理の前及び食事の前には、必ず石けんで手を洗いましょう。

《嘔吐物等の処理》

嘔吐したもの、便で汚れたものには、直接手で触らず、手袋を使って処理をし、汚染箇所は次亜塩素酸ナトリウムで消毒しましょう。

消毒液を保管しなければならない場合は、消毒液の入った容器は、誤って飲むことがないように、消毒液であることをはっきり明記して保管しましょう。

《入浴》

下痢のある時には、シャワーだけにするか、入浴する順番を最後にし、お尻は石けんをつけて、丁寧に洗いましょう。

《その他》

吐いたり、下痢症状のある時には、他の人とタオルなどは共用しないようにしましょう。